

令和5年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門

政策No	13	政策名	港区ならではの魅力を生かした都市観光を展開する
所管部	産業・地域振興支援部		関係部

2 政策のめざす方向性

国内外から多くの観光客が訪れ、世界に開かれた都市として港区が持つ魅力を最大限に発信するため、戦略的なシティプロモーションを推進します。区内の豊富な観光資源の情報を収集し、デジタルの活用により、観光客の視点に立った多言語かつ双方向の情報発信を行います。観光客のニーズに対応した観光案内機能を充実するとともに、多様な主体との連携により、多彩な観光資源を生かした都市観光を展開します。

SDGsとの関係			
----------	---	---	---

3 成果指標【政策について満足している区民の割合】

指標の推移		目標値		達成度 ※	※評価方法 A：中間目標値に到達しており、計画目標を達成できる可能性がある。 B：中間目標値に到達していないが、計画目標を達成できる可能性がある。 C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和元年度）も下回っているが、計画目標を達成できる可能性がある。 D：中間目標値に到達しているが、計画目標を達成できる可能性がない。 E：中間目標値を下回っており、計画目標を達成できる可能性がない。
現状値	実績	中間目標値	計画目標値		
令和元年度	令和4年度	令和4年度	令和8年度末		
29.4%	40.1%	31.8%	35.3%	A	

これまでの取組と成果
観光客の受入体制の整備に加え、戦略的なシティプロモーションの推進や多様な主体との連携によって、港区が持つ魅力や観光資源の情報を効果的に収集・発信したことにより、令和4年度に実施した「港区基本計画策定に向けた区民意識調査」で令和8年度に想定していた計画目標値を達成しました。

課題と今後の方向性
※未達成の場合は原因分析を含む
コロナ禍以降の観光客回復に向け、より多くの国内外からの観光客が安全・安心に区内観光を楽しめるよう、引き続き観光関係事業者や観光ボランティアガイド等と連携し、観光情報の発信・受入体制の充実を図ります。

4 施策の取組状況【施策評価結果】（詳細は別紙「施策評価シート」）

No	施策名	成果指標	施策評価
①	国内外に向けた戦略的なシティプロモーションの推進	シティプロモーションツール「とっておきの港区」の協力宿泊施設数	B
		シティプロモーションシンボルマークの利用申請件数	
②	観光客の視点に立った効果的な情報発信	観光情報発信の内容に満足している利用者の割合	A
③	安全・安心で快適な都市観光を満喫できる環境づくり	港区観光ボランティアガイドと連携した観光案内者数	B
		区設及び民間との協働による港区観光インフォメーションセンター設置数	
④			
⑤			
⑥			

5 予算額・決算額・執行率（単位：千円）			
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額	165,364	368,553	140,999
流用・補正	336,622	-139,264	-
決算額	608,216	221,105	-
執行率	80.02%	96.43%	-

6 政策を取り巻く社会経済情勢等

<p>計画期間中の社会経済状況等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会経済状況、人口動向、財政状況、国や東京都等の動向など 	<p>国内の訪日外国人旅行者数は、令和4年の年間で3,832,110人であったのに対し、令和5年は1月のみで1,497,472人であり、2月以降も継続的な回復が見込まれます。国内の訪日外国人旅行消費額は、令和5年1月から3月期で1兆146億円で、韓国・台湾・香港・アメリカを中心にコロナ禍以前の消費額に戻りつつあります。（令和元年度比-11.9%）</p>
<p>区民ニーズ等</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民意識調査 区民から寄せられた意見など 	<p>「第4次港区観光振興ビジョン策定にかかる観光動態基礎調査結果」では、港区観光の満足度は「満足」が7割を超え、満足できた点は「観光関連施設が多く、きれいである」「交通の便がよい」「都会の雰囲気が満喫できる」等が挙げられています。また、区民が港区に住んでいることについての誇りや愛着について「ある」が85.9%であり、非常に高い数値となっています。</p>

7 所管課による評価【一次評価】

<p>政策の達成状況</p>	<p>政策に満足している区民の割合は、すでに計画目標値を達成しており、今後もより高い満足度の達成につなげていきます。</p>
<p>達成状況の要因</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策の有効性が高かった点 施策の有効性が低かった点 外部要因の影響を受けた点など 	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、区内観光産業も大きな影響を受けましたが、感染症のリスクに配慮した観光支援事業（キャッシュレス決済を活用した観光推進事業や宿泊補助事業など）を行ったほか、国内外に向けた戦略的なシティプロモーションや観光客の視点に立った効果的な情報発信を継続したことが政策に満足している区民の割合を向上させた要因であると考えます。</p>
<p>課題と今後の方向性</p>	<p>一部、観光客の回復を待たなければ達成できない目標値については、社会状況等を十分に注視しながら、その都度、最善かつ最適な手段を選択することにより施策を進めていく必要があります。今後は、地元の商店街や地域住民・在勤者と観光客との交流の促進、新型コロナウイルスにより広がった新たな観光の形や観光客の多様なニーズへ対応し、「訪れたいまち、憧れの港区」の実現に向けた魅力的な都市観光を推進します。</p>




8 港区行政評価委員会による評価【二次評価】

<p>評価※</p>	<p>B：政策目的をおおむね達成できる。</p>
<p>政策の達成度</p>	<ul style="list-style-type: none"> シティプロモーションツール「とっておきの港区」を配置する協力宿泊施設を積極的に拡充していることは評価できます。 観光振興施策と産業振興施策との連携が見えにくくなっています。
<p>今後の政策の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点的に取り組むべき施策など 	<ul style="list-style-type: none"> オーバーツーリズムについても所管部門として高い意識を持って状況把握していく必要があります。 観光振興と産業振興は密接な関係にあり、相乗効果が図られるよう取組を進める必要があります。 港区観光協会との更なる連携により、観光施策の充実に努める必要があります。 日本人観光客の満足度は7割、外国人観光客の満足度は9割と高い数値となっていますが、この結果を更に分析し、より効果的な政策立案につなげる必要があります。

※評価の目安

政策評価	施策評価 (最も低い施策の評価で判断)	政策の成果指標の達成度
A：政策目的を十分に達成できる。		A
B：政策目的をおおむね達成できる。		C以上
C：政策目的を達成するために改善が必要である。		上記以外

施策評価シート

政策No	13	政策名	港区ならではの魅力を生かした都市観光を展開する		
施策No	1	施策名	国内外に向けた戦略的なシティプロモーションの推進		
目標・期待する成果	国内外に向けた知名度向上と港区のブランドの更なる魅力発信に取り組み、将来にわたって訪れたいくなるまちの実現をめざします。多くの人々を誘致し、区内の周遊と経済消費を促すことでまちのにぎわいを創出し、区民のまちへのシビックプライドの醸成を図ります。				
SDGsのゴールとの関係	  				
施策担当課	観光政策担当		関係課		
担当者名	杉浦	内線	3935		

1 成果指標の達成度

成果指標①	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
シティプロモーションツール「とっておきの港区」の協力宿泊施設数	53施設	44施設	50施設	60施設	75施設	100施設
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	b	従来のツールの冊子配置に加え、新しい生活様式に合わせてデジタル化し、二次元コードを掲載した卓上ポップをホテル・旅館客室に配置することで、ツールのデジタル版の閲覧を促しました。		新型コロナウイルス感染症拡大に伴う観光客減少により、宿泊施設の配置数を伸ばすことができませんでした。今後は、観光需要回復のタイミングを逃さず、効果的なシティプロモーションの推進を図ってまいります。		
令和4年度	b	これまで配置交渉をしていないホテル・旅館等を中心に冊子のサンプルを送付した上で配置交渉を実施しました。結果、令和3年度末から6施設のホテルが追加されました。		新型コロナウイルス感染症の影響により、冊子を置かない方針が継続されており、新たに設置してくれる施設が少なく目標値には至りませんでした。二次元コードを掲載した卓上ポップも合わせて引き続きホテル等への交渉を実施してまいります。		
令和5年度	c	徐々に入国制限が緩和され、外国人旅行者も回復傾向にあるため、新規開設ホテルを中心に冊子及び卓上ポップの配置交渉を行います。				

a : 予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b : 予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c : 中間目標値に到達する可能性がない。 - : 指標値を把握できない。

成果指標②	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
シティプロモーションシンボルマークの利用申請件数	11件	12件	15件	20件	15件	30件
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	a	申請団体が行う港区と関連した事業のチラシやHPにシンボルマークを掲載することでシンボルマークの周知・浸透を促しました。また、電子申請サービスを活用することで申請方法の多様化を図っています。		新型コロナウイルス感染症の拡大により、イベントそのものの開催が少なくなっているため、利用申請が伸び悩んでいると思われます。今後も港区に後援を依頼する事業等にシンボルマークを使用してもらうよう呼びかけます。		
令和4年度	a	港区HPに掲載しているシンボルマークの利用申請のページにシンボルマークの使用例を入れることで、閲覧者に容易に申請できることを認識させ、申請を促すよう工夫しました。その結果、中間目標値を1年早く達成しました。		今後さらに利用申請を増やすため、庁内や関係団体等についても利用申請を促す広報を行う必要があります。		
令和5年度	a	前年度よりも利用申請件数を増やすため、庁内や港区観光協会会員などへ利用申請促進のための周知を行います。				




a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

2 施策評価

評価	B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。
施策の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・とっておきの港区の協力宿泊施設数については、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定された成果が達成されませんでした。 ・シティプロモーションシンボルマークの利用申請件数は、目標に掲げる15件が達成できました。 ・施策の評価は、成果指標②は達成、①は取組次第で計画目標値を達成する可能性があるためBとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点など	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標①については、新型コロナウイルス感染症による影響が大きく配置交渉が十分にできず予定された成果が得られていません。 ・成果指標②については、港区HPへの掲載やシンボルマークそのものの認知が広がり成果を得ることができました。
課題と今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標①については、政府による入国制限の解除等により今後外国人旅行者が増えてくることを鑑み、積極的にホテル・旅館等に冊子配置の交渉を進めていきます。 ・成果指標②については、中間目標値をすでに達成しているため、更に利用申請件数が増えるよう周知を進めていきます。

A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。
C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和2年度）も下回るが、計画目標値の達成可能性がある。
D：中間目標値に到達するが、計画目標値の達成可能性がない。
E：中間目標値を下回り、計画目標値の達成可能性がない。

施策評価シート

政策No	13	政策名	港区ならではの魅力を生かした都市観光を展開する		
施策No	2	施策名	観光客の視点に立った効果的な情報発信		
目標・期待する成果	国内外に向けて区の魅力を最大限に伝え、多くの観光客を区へ誘致するため、観光客のニーズに即した効果的な観光情報の発信を推進します。				
SDGsのゴールとの関係	  				
施策担当課	観光政策担当			関係課	
担当者名	小井土	内線	3935		

1 成果指標の達成度

成果指標①	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
観光情報発信の内容に満足している利用者の割合	-	-	90.1%	-	80%	90%
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	-	港区観光マップやシティプロモーションツール「とっておきの港区」等の冊子のデジタル化を行い、多様な媒体で広く情報発信をしました。		今後は、令和4年度に観光情報発信の内容に満足している利用者の割合を計測し、観光客のニーズを調査します。		
令和4年度	a	港区観光動態基礎調査の港区への来訪者（日本人）に調査を実施した結果、90.1%が観光情報発信の内容に満足していると回答しました。		今後も港区の観光情報に満足していただけるよう、最新情報を迅速に発信してまいります。また、左記の調査で、港区来訪者が参考にした情報源として「インターネット」、「SNS」のニーズが高いため、その点を課題として注力してまいります。		
令和5年度	a	引き続き高い満足を維持できるよう、積極的にインターネット・SNSを活用し、港区観光マップやシティプロモーションツール「とっておきの港区」の情報発信を行います。		/		

a : 予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b : 予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c : 中間目標値に到達する可能性がない。 - : 指標値を把握できない。

成果指標②	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度						
令和4年度						
令和5年度						




a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

2 施策評価

評価	A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
施策の達成状況	令和4年度に実施した、第4次港区観光振興ビジョン策定にかかる観光動態基礎調査「日本人港区来訪者調査」において、港区が提供する観光情報の内容に対する満足度を調査しました。全体で「大変満足」(22.3%)、「満足」(40.5%)、「やや満足」(27.3%)を合わせた『満足』は、90.1%となりました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	港区への来訪者(日本人)の多くが区から提供する観光情報の内容に満足しているという結果は、単なる観光冊子等の発行・配布にとどまらず、区が発信している観光情報が広く浸透し、その内容も充実しているという裏付けとなりました。
課題と今後の方向性	今後も引き続き高い満足を維持できるよう、積極的にインターネット・SNSを活用し、港区観光マップやシティプロモーションツール「とっておきの港区」の情報発信を行います。

A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。
C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値(令和2年度)も下回るが、計画目標値の達成可能性がある。
D：中間目標値に到達するが、計画目標値の達成可能性がない。
E：中間目標値を下回り、計画目標値の達成可能性がない。

施策評価シート

政策No	13	政策名	港区ならではの魅力を生かした都市観光を展開する		
施策No	3	施策名	安全・安心で快適な都市観光を満喫できる環境づくり		
目標・期待する成果	観光客が安全・安心に区内観光を楽しめるよう、通信環境や観光案内等の観光インフラを整備するとともに、観光関係事業者や観光ボランティアガイドと連携し、様々な人に配慮した受入体制の充実を図ります。				
SDGsのゴールとの関係	  				
施策担当課	観光政策担当			関係課	
担当者名	小井土	内線	3935		

1 成果指標の達成度

成果指標①	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
港区観光ボランティアガイドと連携した観光案内者数	30人	237人	623人	2,500人	2,500人	4,000人
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	b	感染症の状況を考慮しながら、最小限の人数かつ感染症対策を徹底してガイドツアーを実施しました。また、企業と連携し、オンラインでの案内や駅施設での案内も合わせて行いました。		新型コロナウイルス感染症拡大に伴う観光客減少により、観光案内者数を伸ばすことができませんでした。今後は、感染状況を考慮しながらオンライン等も活用し、観光案内を行っていきます。		
令和4年度	b	令和3年度と同じ条件下での事業実施となりましたが、ワクチン接種が進むなど、国内旅行客が回復傾向にあったことも影響し、案内者数が増加しました。		港区観光ボランティアガイドと連携し、ポストコロナを見据えた公募ツアー及び受託ツアーの受入体制を整備します。		
令和5年度	b	新型コロナウイルス感染症の制限緩和に伴い、観光客の回復が見込まれることから、ガイドツアーの制限を解除します。コロナ禍以前の2,455人(H30)、2,326人(H31・R1)並みの実績が期待できます。		/		

a : 予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b : 予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c : 中間目標値に到達する可能性がない。 - : 指標値を把握できない。

成果指標②	指標の推移				目標値	
	現状値	実績		見込値	中間目標値	計画目標値
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和8年度末
区設及び民間との協働による港区観光インフォメーションセンター設置数	5か所	5か所	6か所	6か所	7か所	10か所
	達成度	当該年度の取組と成果		課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和3年度	a	令和4年4月1日から札の辻スクエア内に港区観光インフォメーションセンターを新たに開設するための調整を行いました。		民間インフォメーションセンターの拡充が難しい点が課題となっています。ポストコロナを見据え、新たな観光スポットや人流の多い場所での情報発信を一層充実させるよう調整を図ります。		
令和4年度	a	令和4年4月1日から札の辻スクエア内に港区観光インフォメーションセンターを新たに開設し、合計6か所での情報発信を開始しました。		モノレール浜松町駅のインフォメーションセンターの有人窓口が、令和5年度以降、駅舎改修工事の影響により一時閉鎖（無人化）することに伴い、より周知効果の高いインフォメーションセンターの設置に向けた調整を要します。		
令和5年度	c	目標値達成に向け、引き続き民間インフォメーションセンターの拡充を図ります。				

a：予定どおり中間目標値に到達する見込みである。 b：予定どおりの成果が出ていないが、改善により中間目標値に到達する見込みである。
c：中間目標値に到達する可能性がない。 -：指標値を把握できない。

2 施策評価

評価	B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。
施策の達成状況	成果指標②の達成度が「c」であることから、施策評価は「B」としました。 特に①については、感染症等の社会状況に応じ、大きく影響を受けることから、今後の状況次第では目標値の達成が困難であるといえます。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	①については新型コロナウイルス感染症、②については東京モノレール浜松町駅の改修工事など、外的要因が影響しています。
課題と今後の方向性	ポストコロナの観光客回復に向け、より多くの国内外からの観光客が安全・安心に区内観光を楽しめるよう、引き続き観光関係事業者や観光ボランティアガイドと連携し、受入体制の充実を図ります。

A：中間目標値に到達し、計画目標値の達成可能性がある。
B：中間目標値に到達しないが、計画目標値の達成可能性がある。
C：中間目標値に到達せず、かつ、現状値（令和2年度）も下回るが、計画目標値の達成可能性がある。
D：中間目標値に到達するが、計画目標値の達成可能性がない。
E：中間目標値を下回り、計画目標値の達成可能性がない。